

日本脊椎脊髄病学会 平成 24 年度第 4 回国際委員会議事録

平成 25 年 1 月 17 日(木)20 時～21 時

ホテル日航東京 1 階 萩

出席:松山幸弘理事、湯川泰紹委員長、金山雅弘、小西宏昭、豊根知明、
根尾昌志、長谷川和宏、矢吹省司 各委員、岩波明生、富士武史 各アドバイザー

1.第 42 回学術集会中の予定

国際委員会行事

4 月 25 日(木) 朝7時 30 分～委員会、トラベリングフェローとの打ち合わせ

4 月 25 日(木) 17 時～18 時 イングリッシュポスターアワードの傍聴、採点

18 時～18 時 30 分 審査会

19 時～全員懇親会にて表彰式

4 月 26 日(金) 19 時 30 分～国際委員会主催の Dinner ラグナガーデンホテル「あんのん」

招聘者の講演予定

Dr. Wong Yat Wa(香港)

Dr. Chang Bong-Soon(韓国)

Dr. Rahyus Salim(インドネシア)

Dr. Gabriel Liu(シンガポール)

} 4 月 25 日(木) 14:20～15:20 講演

「アジアの脊椎外科の現況」(英語名:Current state of spine surgery in Asian countries)と題して、4 名の招聘者に講演をいただく予定である。

座長は岩崎幹季先生・湯川泰紹先生に依頼する。

Dr. Tzai-Chiu Yu(台湾)

4 月 26 日(金)10:50-11:50 講演

座長は学会主催校で決定する。

2.イングリッシュポスターアワード選考について

学術集会の全体での抄録採択率(80.8%)を基準に、イングリッシュポスターアワード応募演題 64 題中 50 題 [M1]をポスター発表として採用した。採用にあたって、評価点数が同等の場合、国外からの応募および若い研究者を優先した。

採用となった 50 演題のうち、評価点数をもとに、国内・国外それぞれ上位 5 演題ずつ計 10 題をアワード候補とした。

3.平成25年度アジアトラベリングフェロー選考について

アジアトラベリングフェローには 21 名の応募があり、研究業績と臨床経験をもとに 12 名を選出した。選出された先生は以下のとおり[M2].

酒井紀典(徳島大学ヘルスバイオサイエンス研究部)

亀井直輔(広島大学病院再生医療部整形外科)

出村諭(金沢大学整形外科)

平林洋樹(信州大学医学部運動機能学講座)

赤澤努(聖隷佐倉市民病院整形外科)

安藤圭(名古屋大学附属病院整形外科)

土井俊郎(九州大学別府病院整形外科)

細金直文(慶応大学整形外科)

吉田剛(浜松医療センター整形外科)

鈴木伸幸(名古屋市立大学病院整形外科)

伊藤圭吾(中部労災病院整形外科)

相庭温臣(沼津市立病院整形外科)

平成 25 年度より、学会からフェロー修了証を発行する。

また、平成 24 年度、25 年度とも、東日本大震災の影響のためか北海道地区・東北地区からの応募が少なく、来年度以降、積極的な応募を働き掛けていく。

アジアビジティングスカラーには富士武史先生(大阪厚生年金病院)が選出された。

今後、フェロー受け入れ施設の減少が危惧されており、ビジティングスカラーにはフェロー受け入れ施設の維持・新規開拓にもご尽力いただく。

4. 今後の委員会日程

次回は 4/25(木) 7:30～(日本脊椎脊髄病学会学術集会期間中)、

次々回は 5/24(金) 7:00～(日本整形外科学会学術集会期間中)の予定である。